

真狩村「フラワーロード」

花ユリ球根植え

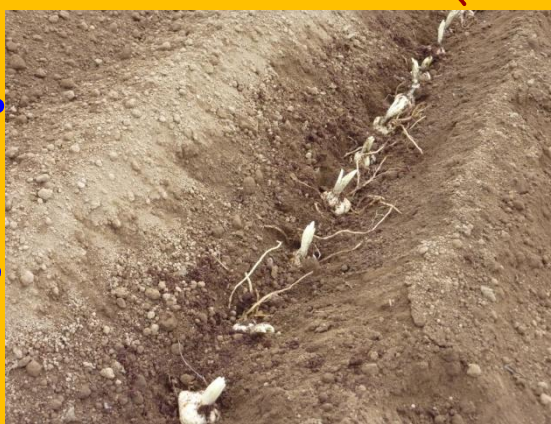


真狩村イメージキャラクター「ゆり姉さん」も参加



フラワーロードは、留寿都村から真狩村に向う道道岩内洞爺湖線沿いの約2kmの道路沿いの圃場(国営農地再編整備事業「真狩地区」内)に設けられ、真狩村を訪れる人を歓迎するために、約4万本の花ユリが植えられています。

6月8日、ユリ根生産量全国一を誇る真狩村で、通称「フラワーロード」を花ユリの黄色い花で満開にし、お出迎えしようとする花ユリ球根植へのポランテアが開催されました。当日は、村内外から沢山の方々が集まり、土にまみれつつ、爽やかな汗を流しました。今回は、その模様をお届けいたします。



「どんな花が咲くかな。」

毎年8月、四万本の花ユリ

が、真狩村で待っています！



この取り組みは、平成5年から村内の農業者、商店主等で組織した「村づくり研究会」が主体となっていて行われていきました。当日は、当部、農業開発課、後志中部農業開発事業所、地域振興対策室の職員及び家族も参加し、球根植えを行いました。

今回植えた花ユリは、8月上旬から中旬にかけて見頃となります。夏は鮮やかに咲き誇る花ユリを見に、真狩村までドライブに出かけてみてはいかがでしょうか。みなさんのお越しをお待ちしています。



当部職員も楽しく汗をかきました。



大勢の方が花を植えました。

毎年、こんな感じに綺麗に咲きます！

